SOWER

ソア＝種まく人
No.31
February 2008
財団法人
日本聖書協会

特集 「聖書 新共同訳」発刊20年を迎えて

SOWER ソア No.31
2008年2月10日発行［年2回発行］
発行・財団法人 日本聖書協会
〒104-0061 東京都中央区銀座四丁目5-1 聖書館ビル
電話 03-3567-1988 FAX 03-3567-4451 振替 00160-2-18410

2008年春、いよいよスタート

『聖書 新共同訳』準拠
みんなの聖書 絵本シリーズ

「読み聞かせ」で楽しむ絵本シリーズ

2008年4月より、毎月1冊、3年間。全36冊のオリジナル絵本聖書が発売されます。日本人クリスチャン画家（旧約：藤本四郎氏、新約：杉田幸子氏）が描きます。年間購読するとうれしい2つの特典つきです。

特典1 定価1,000円×12冊＝12,000円が特別価格9,800円に!
（特価受付期間：2008年5月まで）

特典2 聖書キャラクターのオリジナルカレンダーをもれなくプレゼント!
（カレンダーは無くなり次第終了とさせていただきます。）

「せかいのはじまり」より©藤本四郎　「少年イエスと洗礼者ヨハネ」より©杉田幸子

定価（各巻）：1,000円（税込）
天地250mm×左右210mm、上製本、オールカラー30ページ（解説4ページ）

「音筆」にも対応。

ひとりでも読める　ひとりでも聴ける
「音筆」で絵本にタッチするだけで、そのページの朗読を聴くことができます。まだ文字を読むことのできないお子さまにいかがでしょうか。ひとりでも絵本が楽しめます。
初年度12巻分の音声データを内蔵しています。2年度以降はデータを差し替えることでご利用いただけます。
朗読：久米小百合（教会音楽家・日本聖書協会親善大使）
予価：15,750円（税込）　音筆についての情報は日本聖書協会ホームページをご覧下さい。

音筆対応

詳しくは本誌18、19ページをご覧下さい。

■お求めはお近くのキリスト教書店まで

財団法人 日本聖書協会 JAPAN BIBLE SOCIETY
〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1 聖書館ビル
TEL 03-3567-1987 FAX 03-3567-4451
http://www.bible.or.jp

携帯用のご注文サイトです

ホームページからも注文できます（送料別途）

財団法人 日本聖書協会のホームページ
http://www.bible.or.jp

編集協力＝雑賀編集工房
デザイン＝株式会社 デザインコンビビア

印刷＝株式会社 高速オフセット

R40
古紙配合率40%再生紙を使用しています

巻頭聖句

すると、
「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」
という声が、天から聞こえた。

（マルコによる福音書　1章11節）

親は、なぜ子を生むのか。
言うまでもなく、愛するためであり、語りかけるためだ。
天の父はこの私を愛しているし、語りかけている。
イエスが洗礼を受けたとき、
すなわち自らが本当に神の子であることを受け入れ、
すべての人が神の子であると宣言するために出発するとき、
「天が裂けて」この声が聞こえた。
つまり、愛するあまり黙っていられなかったのだ。
天からあふれ出し、地に降り注ぐ親心。
イエスが聞いたこの声を、イエスを信じる者も聞く。

晴佐久昌英
はれさく　まさひで
カトリック東京教区司祭

Sower
No.31
2008

CONTENTS

2 ソア31号発行によせて　BS NEWS　渡部　信
3 特集 「聖書 新共同訳」発刊20年を迎えて　編集部
10 聖書セミナー⑨ 浅野淳博 「回心」以前のパウロ ――パウロ書簡を理解する手がかり
12 人物と聖書　鈴木範久 芥川龍之介の聖書
14 エッセー㉓ 山北宣久 聖書をめぐるあれこれ
16 JBS情報 教会の幅広いご協力を求めて
17 Bible Guide 新刊案内　ジッパーつきDUO他
18 新刊紹介　みんなの聖書 絵本シリーズ
20 手話訳聖書の一日も早い完成のために
21 聖書図書館蔵書シリーズ――㉙ 新約聖書 ラゲ訳

表紙の言葉
北海道の景色で真っ先に思い浮かぶのが大きな空とすっくと立ったポプラの木。街路樹や牧場の境界線として多く植樹されています。その中でもひときわ有名な北大のポプラ並木。今は通行止めとのことですが、かつてはこんな光景も見られたのではないかと、想像しながら描きました。
（絵・文＝佐藤百合子）

Bible Verse & Essay by Masahide Haresaku

特集

新共同訳発刊20周年

「聖書 新共同訳」発刊20年を迎えて

「聖書 新共同訳」
1987年特別版

「聖書 新共同訳」

超教派運動（エキュメニズム）の流れを背景にプロテスタントとカトリックの聖書学者が18年かけて完成させた新共同訳聖書も、今年で発刊20周年を迎えました。今回の特集では、これを機会に新共同訳聖書についての思いを、キリスト教界のおもだった方々にお寄せいただきました。また、教会の教職者の方々、そして一般信徒の方々を対象として広くアンケート調査を行い、新共同訳聖書や聖書全般に関する意見や要望をまとめました。

編集部

聖書通読会（横須賀小川町教会）のようす

「聖書 新共同訳」発刊二十周年に寄せる

カトリック東京大司教
岡田武夫

「聖書　新共同訳」がこのたび発刊二十周年を迎えられる由伺いました。心からお祝い申し上げます。わたくしも毎日、新共同訳聖書を使い、読み、祈り、黙想している者の一人です。同じキリスト教徒であり、同じ聖書を教典としているのですから、同じ翻訳の聖書を共有するということは極めて望ましいことです。カトリック教会の聖書学者が加わって共同訳聖書、さらに新共同訳聖書が完成し、多くの教会で使われております。日本だけでも聖書の翻訳は種類が多数に及び、それぞれ特色があり、意味のあることでありますが、さらに交流と協力が進み、日本ですべての教会が統一された共同訳聖書を持つ日が来ることを希望しております。

カトリック教会では典礼を大切にし、典礼で聖書の朗読が行われます。その際、聖書朗読についても、他の教会との共通理解が進展しますよう願っています。また、聖書は読むとともに聴く、ということが大切です。「聴く聖書」ということについても話し合いが進展しますよう

ソア31号発行によせて

会報誌『SOWER』ソア（＝種まく人）31号をお届けいたします。

財団法人　日本聖書協会
総主事　渡部　信

『SOWER』31号を皆様にお届けすることができ感謝です。1987年にカトリックとプロテスタント諸派の共同翻訳による新共同訳聖書が完成して以来、2007年10月に20周年を迎えることができました。そして、新共同訳聖書の累計頒布数も1,000万冊を目前にしています。これも多くの方々に新共同訳聖書が読まれ、愛されてきたことによるものだと思います。近年では、紙の聖書のみならず、音声データや電子データによる聖書が聴かれ、読まれる時代になりました。

このような流れの中で、「アートバイブル」「パノラマバイブル」「スタディバイブル」のような新形態の聖書類が出版され、2008年には「絵本聖書」「まんが聖書」などの聖書類も刊行予定です。また、学習用としては2006年に「ギュツラフ訳聖書復刻版」が発行されましたが、「聴いて読めるギリシア語聖書」もまったくオリジナルな製作で新たに刊行される予定ですので、ご期待ください。

2005年に発足した翻訳部では、聖書について学ぶ機会として「国際聖書フォーラム2006」と「国際聖書フォーラム2007」を開催してきましたが、2008年には聖書翻訳理論に焦点を当てたセミナーを開催したいと思います。

その他、皆様からの献金により、国内では点字聖書とろう者のための「手話訳聖書製作」が15年計画で進められております。そして、国外では海外の聖書製作のため、2007年には17のプロジェクトを献金支援しました。今後もこれらの支援計画を応援してくださり、一人でも多くの方々に聖書が届けられるようご協力いただければ幸いです。伝道の難しい時代でありますが、世界では多くの場所で宣教の働きが進展しているのも事実です。神の国がすみやかに私たちのところへ来る日を心から願う次第です。主の祝福が皆様の上に豊かにありますようお祈りいたします。

BS NEWS

「中国教会にメガ・チャーチが出現」

渡部　信　日本聖書協会総主事
わたべ　まこと

最近、中国国内のキリスト教会の発展はめざましい。2007年11月に、上海から約150キロ西にある杭州の教会を視察する機会を得た。杭州市は、160万の人口のうちプロテスタントのクリスチャンは7万人いると聞いたが、その街の真ん中に6,000名入る教会堂が中国人クリスチャン自身の献金によって完成した。日曜日の礼拝は2回あり、出席数は6,000名、昨年の入信者は450名とのこと。Josepf Gu主任牧師は40歳余。彼は5人のフルタイム・スタッフと共に伝道しているが、土地取得から会堂建築まで自分たちの手でなし得た経緯を熱く語ってくれた。その口調は、過去の韓国教会の成長を再現するかのような勢いであった。13億人の人口を持つ中国にキリスト教会がこの勢いで成長していったら、もはや誰も止めることはできないだろう。聖書協会世界連盟の寄付による、

浙江省　崇一堂教会

南京の愛徳印刷所も今年で5,000万冊の聖書を印刷・頒布してきたが、現在、新しい土地にさらに数倍規模の印刷所が建築中で、それは今後の聖書印刷に備えるためのものである。毎日、熱心に祈禱をもって始める中国人クリスチャンに、私たちは学ぶものが多々あるのではないかと思う。

新共同訳にかかわる私の思い出

聖路加看護大学学長
聖路加国際病院名誉院長・理事長
日野原重明

聖書の新共同訳の出版二十周年の今、あの大きな計画に取り組まれた聖書学者の方々に心から敬意を表します。

原文の聖書が日本語に正しく訳されることが第一の条件ですが、私のように長年古い訳の聖書を読んできた者には、古き訳の中に非常に心打つ訳文があったと考えざるを得ません。両訳を比べて、私のざっくばらんな気持ちを以下に書いてみました。

私が学長をしていた聖路加看護大学の新館の図書館の入り口には、一九五四年改訳（新約）の文章、ピリピ人への手紙一章九節「わたしはこう祈る。あなたがたの愛が、深い知識において、するどい感覚において、いよいよ増し加わり、それによって、あなたがたが、何が重要であるかを判別することができる」という訳文が刻まれてあります。新共同訳は、「わたしは、こう祈ります。知る力と見抜く力とを身に着けて、あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように」との文章に改められています。古い訳がよいか、新しい訳がよいかを考えていると、古きよきものは大切にし、新しいものを求める「温故知新」の言葉が浮かんできます。

神の召しに応えるべく

前日本銀行総裁
速水　優

私は大正一四年生まれ、もう八十二歳を超える老境に入っている。幸い、母や兄、姉たちが熱心なクリスチャンであり、いわゆる「クリスチャン・ホーム」で育っている。

私は神戸で生まれ、米国帰りのご夫妻が開設されたキリスト教主義の「愛児の園」という幼稚園へ通い、小学校五年まで芦屋に住んだ。その後、銀行勤務であった父の転勤に伴い、東京へ引っ越したが、日曜日は母たちの通う教会の日曜学校に行くよう努力した。

私は終戦の年に応召されたが、終戦で無事に大学に復学できた。そして、「強い信仰」を持ったまま戦病死した兄の影響もあり、終戦のクリスマスに阿佐ヶ谷教会で洗礼を受けた。

聖書は一九五五年改訳（新旧約、口語体の訳文）、さらに一九八七年に新共同訳が発刊されて今年で二十周年だが、私の受洗の時も、そして結婚の時も聖書はまだ文語体だった。一九五四年、阿佐ヶ谷教会の大村勇先生が私どもの結婚式の司式をしてくださり、墨でコロサイ書三の一六にある「キリストの言葉を、あなたがたのうちに豊かに宿らせなさい」という口語訳聖書の言葉を書いてくださった。私は今でもその聖書を大事にしている。

一九九七年に発行された『誠実――ビジネス界を翔る人の聖書の言葉』（日本聖書協会）で使った聖書の言葉は新共同訳であり、聖書を社会に理解してもらえる一助となればと考え、選者をお引き受けした。

また先日、映画「マリア」を観た。キリストの生まれるまでの母マリアと夫ヨセフとの物語で、キリスト誕生の裏にあった一人の女性の愛と葛藤を身近に見ることができた。こういう作品を日本で観ることができるのも、聖書を分かりやすい日本語にした新共同訳が役に立っていると思う。私は常に手元に置いて、今後も信仰を深めていきたいと思っている。

「聖書 新共同訳」発刊二十周年に寄せて

歌人、随筆家
三浦綾子記念文学館理事長
三浦光世

新共同訳の聖書が発刊されて、早くも二十年とか。

初めて私が聖書を手に取ったのは、十五歳の頃であった。母の持っていた文語訳を読みかけてみたが、すぐに止めた。

戦後、腎臓結核の後遺症の膀胱結核が悪化して、拷問のような苦痛を味わった。苦しみ紛れに再び聖書を読み始めた。幸い兄に見つけられ、牧師を呼んで来てくれて、一年後には教会に通い、洗礼を受けた。

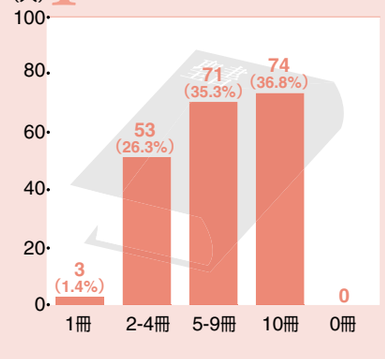
文語訳は完璧な訳と聞いたことがある。それはともかく、確かに勉強になった。口語訳が発刊されてからは、もっぱら口語訳をくり返し読んだ。旧新約を通して少なくとも三十回は読んできた。

このほど新共同訳を開いてみて、旧約聖書続編が目を引いた。確か外典と言われていたように思う。教訓に富んでいるとも聞いたことがあったが、ほとんど新約聖書に近い頁数でおどろい

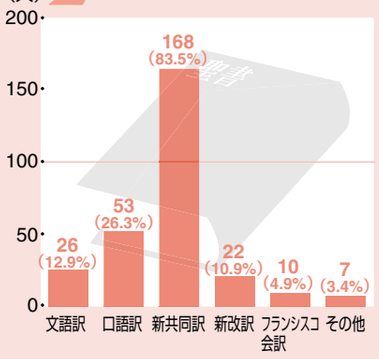
個人用アンケート分析結果

※ このアンケートは『キリスト教年鑑』に掲載されている教職者以外の個人を対象として行いました。
無作為に選出した400名の方に送り、201通の回答をいただきました（各質問に複数回答あり）。

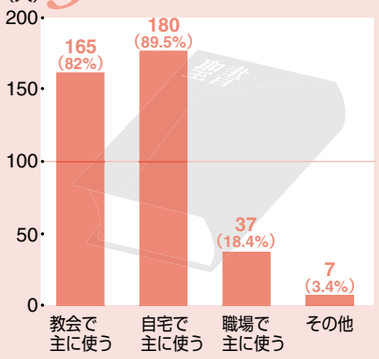
1 聖書を何冊お持ちですか？



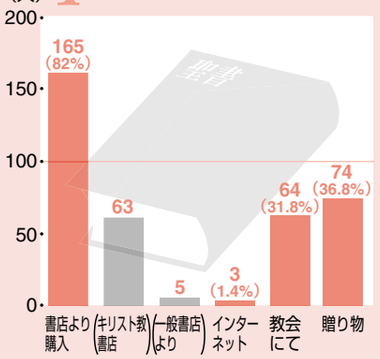
2 主に何訳の聖書を用いていますか？



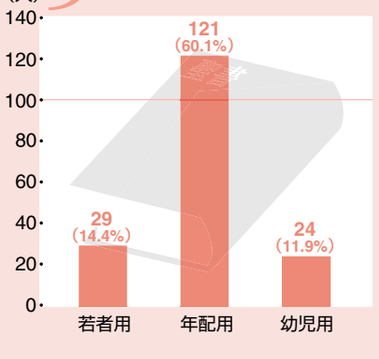
3 聖書は主にどこで使われますか？



4 お使いの聖書はどこで入手されましたか？



5 どのような聖書を今後希望されますか？



● アンケート総括

個人の方々から最も多かった意見としては、訳の問題が挙げられます。より格式が高く、かつ分かりやすい訳、また最新の研究結果を取り入れた訳を望むという意見が数多くありました。日常的に複数の日本語訳聖書を使っている人も多く、訳に対する関心の高さがうかがえます。そのほかには、解説つき、年表つきなど、聖書理解をより深めるのに適した聖書を望む声が多く聞かれました。また、教会の高齢化を反映してか、大きな字で、軽量の年配者向け聖書を求める意見が特に多かったことも個人向けアンケート結果の特徴の一つです。

祝 新共同訳 成人式

日本基督教団 聖ヶ丘教会牧師
日本基督教団総会議長
山北宣久

「聖書 新共同訳」が出版されて二十年。これで新共同訳も成人式を迎えたこととなる。これから成人としてさらに幅広く、深く歩みを展開していくことであろう。感謝にたえない。これで、日本聖書協会が最初の旧新約聖書を出版してちょうど百二十年。こちらのほうも、完全な、完璧はあり得ない。しかし、その真摯な労作としての「新共同訳」には、その祈りと願いが見事に開花している。のみならず、そこにはカトリックとプロテスタントの中垣をも超えて一つとなり、まさにエキュメニカルな聖書翻訳を実現することにより、何とかしてすべての日本の同胞を救いに導きたいと切に願うキリストにある一つ救霊愛が息づいている。願わくは、この聖書をさらに万人の魂に届けたい。

「聖書 旧約聖書続編つき 新共同訳」が出されてから、こまごまとした改良を加えながらも早や二十年になったことに、感慨無量です。

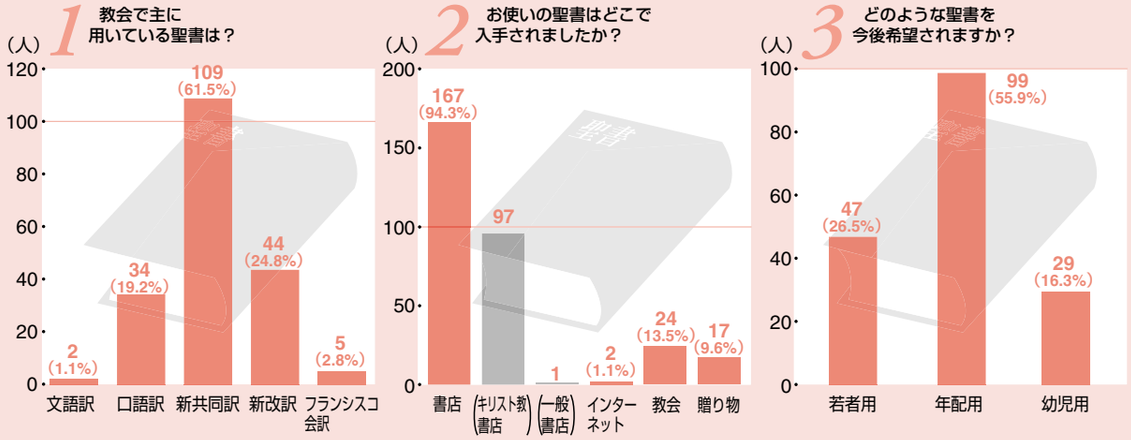
この翻訳には、あれこれ注文もないわけではありませんが、でも、従来の訳より底本が良くなったこと、あちこちで訳の解釈が是正されたこと、版や造本の多様化、音声化、手話化などによる普及範囲の拡大など、いくつもの長所や貢献を挙げることができます。

しかし私としては、これがエキュメニカルな「共同訳」として作られ使われてきたことこそ最大の業績だと思っています。これが諸教派・諸教会の間の交流を促し、日本のキリスト教世界と一般社会に聖書を広めている度合いにおいて、聖書和訳・頒布史上、画期的な役割を果たしたからです。

それだけに、新々共同訳へ進むに当たっての多大の困難を想わずにはおれません。とりわけ私がかねてから最も危惧してきたことは、今と今後の日本のキリスト教世界の中に、これだけ交流の広がった諸教派の全体から大方の尊敬と信頼を受けて作業を束ねられる人材を得られるのだが。

教会用アンケート分析結果

※ このアンケートは『キリスト教年鑑』に掲載されている教会を対象として行いました。
無作為に選出した600の教会に送り、教職者の方から177通の回答をいただきました(各質問に複数回答あり)。

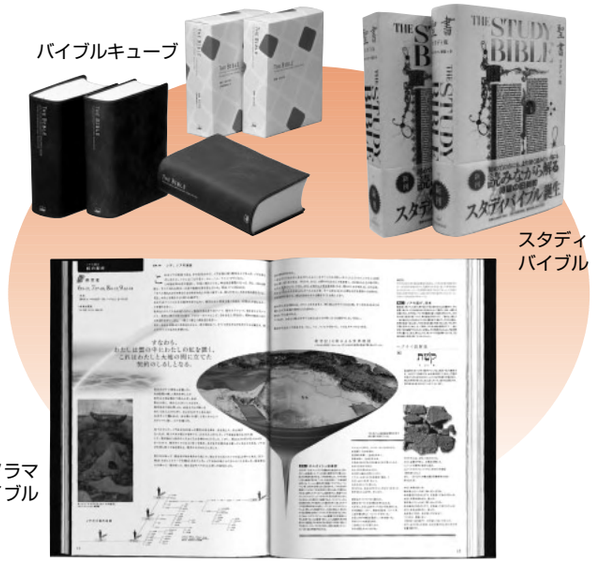


● アンケート総括

教会の牧師、神父の方々からの意見でも翻訳に関するものが最も多く、単語の訳し方から新たな改訳聖書の希望、現在の翻訳に満足しているというものまで、さまざまありました。ここで特徴的なのは、伝道という視点に立つ声が多数聞かれたことです。初心者が手に取りやすく、デザイン性が高い聖書を望むなど、装丁に関する要望から、安価で、幼児、若い世代向けの聖書を、という声まで、内容は多岐にわたります。また、聖書を学ぶための資料を希望する声も同じくらい多く、聖書理解に対する熱意が感じられました。

聖書共同訳事業の進展を願って

日本キリスト改革派
東京恩寵教会名誉牧師
榊原康夫



「聖書 新共同訳」発刊二十周年に寄せて

日本福音同盟理事長
ワールド・ビジョン・ジャパン
名誉会長
ウェスレアン・ホーリネス教団
淀橋教会主管牧師
峯野龍弘

僭越ながら、キリストの福音の宣証と、聖書を通して放たれる神の御心の伝達のためには日夜生命を賭して労する者の一人として、出版後二十周年を迎えた「新共同訳」に関して、ここに率直な感想を寄せたい。

「聖書 新共同訳」は、聖書が神の言葉であることを真摯に信奉するカトリック、プロテスタント両陣営の最高の翻訳陣によって完成した歴史的労作である。翻訳者たちは、共に深く祈り合い、限りなく原文の真意に忠実、かつ正確に肉迫しようと尽力し、しかもその表現は日本語の美しさと正しさ、さらには音読の麗しささえも極めようと、その筋の専門家たちの吟味をも経て、何よりもその上に神の言葉である聖書の品位、格調、権威を確保しようと最善の努力を惜しまなかった。

言うまでもなく、人間の業としての翻訳に完

だろうか、ということです。信仰・人柄・学識においてその器量を備える人々が生まれることを祈るや切です。

「聖書 新共同訳」に思いを寄する

続編つき新共同訳は日本正教会にとって大きなプレゼント

日本正教会・札幌教会長司祭
アレクセイ 松平康博

日本正教会は一九〇一（明治三四）年に新約聖書を独自に翻訳いたしましたが、残念ながら旧約聖書の翻訳はできませんでした。推測いたしますには、一八八七（明治二〇）年には日本でも旧約聖書の翻訳が完成しておりますので、ニコライ大主教は、奉神礼（典礼）に関する祈禱書類の翻訳を優先させたためでしょう。しかし、正教会の旧約はギリシア語原典を基にしているゆえ、五十巻を正典としております。したがって、今までの聖書のほか、「アポクリファ」または「外典書」を別に購入して読まなければなりませんでした。

「新共同訳　続編つき」は、この煩わしさを解消してくれました。また、正教会信徒のなかでも「アポクリファ」まで購入する方は少なかったので、正教会の定める旧約聖書全部を目にすることができるようになりました。特に知恵の書（正教会では「ソロモンの知恵書」）やシラ書（正教会では「シラフの子イイススの知恵書」）等はまさに生活に密着した教訓の書でありますので、よく理解でき、ためになると信徒のみなさんの声をよく聞きます。

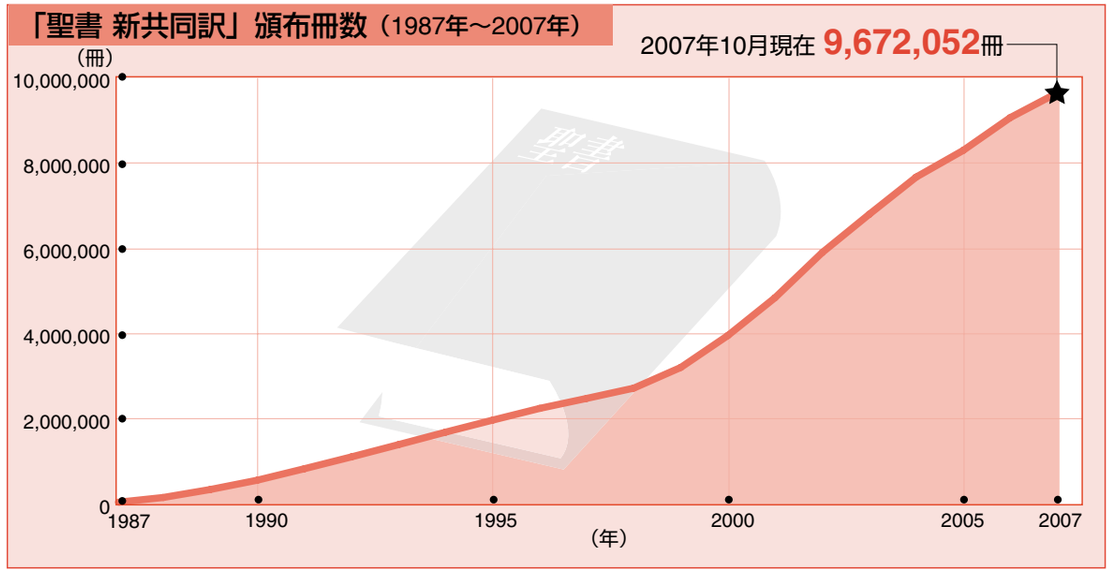
もうひとつの特徴である小見出しは、他の書物のように最初から最後まで読み通すことなく拾い読みも可能にしてくれます。もちろん、通読の必要性を充分わきまえた上でのことですが。また、小見出しはコンコルダンスの機能の一部を担い、あの聖書の記事はどこだったのかと探す時にも大助かりです。

とにかく、新共同訳は聖書の読者層を広いものにしました。聖書に精通した者だけに目を向けた翻訳編集ではなかったと思います。

新共同訳聖書——出た、読んだ、泣いて笑った！

教会音楽家
日本聖書協会親善大使
久米小百合

二十年前、有明辺りでバブルに浮かれた若い女性たちがブランドものを競い合っていた頃に「新共同訳聖書」が出版されたのですね。私はその頃にバプテスト神学校の門を叩き、初めて聖書というものを一冊読み終えたのでした。もしキリスト者でなかったなら、浮かれた世の中の灯りに踊らされた毎日だったでしょう。人生の意味を照らしてくれる本当の灯り、それが聖書の言葉でした。だから、不思議なくらい、八〇年代後半のヒット曲、話題の映画や連ドラと言われるお茶の間の話題に疎いのです。代わりに私の中でヒットしていたのは、ヘブライ語やギリシア語という聖書の原語や、創世記から黙示録までを順番に覚える「替え歌」でした。ちなみに、この鉄道唱歌のメロディ「創出レビ民申命記……」のおかげで早く聖書が開けるようになりました。最初に買った外典付きは、未知なる物語にワクワク。次に買った少しだけ小さなサイズのものは、ギリシア語で苦労した思い出の留学先アテネにも持っていき、荷物にはさまれてボロボロ。その後十二年の不妊を経て息子が与えられてからは、とにかく小さくて薄い聖書をいろいろ買いました。哺乳瓶や紙オムツとともにバッグに放り込むためです。子供の寝顔を見てほろっとしたり、ニヤニヤしたり。いろんなことを通してみ言葉を体験できた二十年でした。マイ聖書も成人式なんですね、おめでとう！　そして、ありがとう。



終わりに

新共同訳発刊二十周年。新共同訳委員会発足より三十八年。気の遠くなるような作業と努力、祈りによって歩んできた「聖書 新共同訳」は、ちょうど子供がさまざまな試練を通りながらも成長していくように、守られて現在に至りました。人生に出会いがいろいろとあるように、今回、「聖書 新共同訳」に対してお言葉をいただいた方々にとってもその出会いはさまざまです。典礼を通して、病苦などの経験を契機として、家族を通して、教会を通して…。カトリックとプロテスタントの共同作業の結晶とも言える「聖書 新共同訳」は、この二十年の間にそれぞれの方の人生に深く関わってきたことを感じます。またアンケートは、千通お送りして四百通ちかい回答をいただきました。聖書翻訳への意見や今後の聖書に対する要望を熱心に書いてくださった方も多く、「読む人に分かりやすい訳だけれど、より格調高く」など、なかなか高度な意見をくださる方もいて、それだけ聖書に対する思い入れの深さを感じます。

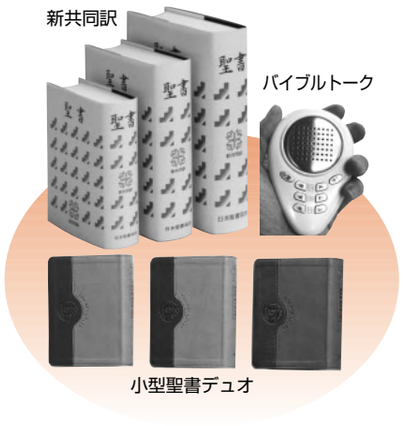
最後に、聖書を出版していく側としては、日々愛読し、また人生の指針として紐解く聖書の訳文に多くの方が意見をお持ちであることを実感せずにはいられません。特に新共同訳に関しては、分かりやすさを評価してくださる反面、全体の語調から特定の単語に至るまで、訳し方についてさまざまなご指摘をいただきました。また、お寄せいただいたアンケートの意見は、今後新しく聖書を発行する際に大きな宝となることと思います。これからも多様なニーズに柔軟に対応しながら、時代に即した聖書を出版し、多くの方に求められる聖書翻訳に努めるよう、日々邁進してまいりたいと思います。

新共同訳1,000万冊頒布達成記念イベント

皆様に愛されて20周年を迎えた新共同訳は2008年度中に1,000万冊頒布を達成する見込みです。

例年どおり頒布された場合、2008年5月頃に達成イベントを行う予定です。

1,000万冊目のお客様にはプレゼントを差し上げる予定です。



「回心」以前のパウロ
パウロ書簡を理解する手がかり

浅野淳博
あさの　あつひろ
東京基督教大学非常勤講師

日目に割礼を受け、……ベニヤミン族の出身で、ヘブライ人の中のヘブライ人」（フィリ三・五）とあるように、その帰属を誇るユダヤ人家庭で幼少時代を過ごすとは、どのような体験だったでしょう。パウロ書簡の堪能なギリシア語は、ギリシア語古典というよりもギリシア語聖書に裏打ちされているようで、幼少時からユダヤ人学校でギリシア語のトーラー教育がなされていたことを推測させます。しかし、表面的とはいえ異文化との接点は否めず、たとえば、「貧しく暮らすすべも、豊かに暮らすすべも……いかなる場合にも対処する秘訣を授かっています」（フィリ四・一二）は、キリストにある充足性を、ストア派の教えに慣れ親し

導入

近年の聖書セミナーでは、何度かにわたって、使徒パウロの伝統を継承する書簡がテーマとなったようですが、今回は使徒パウロ自身をテーマとして扱いました。キリスト教書店にまいりますと、「イエス」を主題とした良書は多く目につきますが、「パウロ」となると少々寂しさを感じます。しかしご存じのとおり、パウロとその伝統を受け継いだ書簡は新約聖書全体の三五％を占め、また使徒言行録が伝える初代教会伝播の様子は、その半分以上をパウロの宣教活動が占めています。後二世紀初期に書かれたであろう第二ペトロは、パウロ書簡を「聖書のほかの部分」（三・一五―一六）と併記するほどにその重要性を意識しているようです。その他、使徒教父によるパウロ書簡の引用、パウロを主題とする新約聖書外典諸書等、初代教会における使徒パウロの存在感は大きかったようです。

そこで今回のセミナーでは、パウロ書簡を正面から読む際の参考として、第一次資料であるパウロ書簡と第二次資料である使徒言行録を中心に、当時の歴史に鑑みながら、使徒パウロの横顔を眺めることにしました。したがってここでは、パウロがディアスポラ・ユダヤ人であるということ、またファリサイ派教師が使徒の召命を受けるということに思いを巡らせ、新たなパウロ理解へと道を備えましょう。

1 ディアスポラ・ユダヤ人パウロ

「ディアスポラ」という語は、バビロン捕囚を期にパレスチナを離れたユダヤ人の体験と深く関係しますが、最近ではより一般的に「離散者」を指す場合もあります。ユダヤ人の離散は、バビロニア侵略のみがその原因ではありません。たとえば前六三年のローマ属州化に際しては、ポンペイウスが多くのユダヤ人をローマへ奴隷として連行しました。ことによると、パウロの祖先はこの時に故郷イスラエルを離れることになったのかもしれません。そして、トルコ地中海沿岸東部に位置するローマ帝国属州キリキアへ移り、「れっきとした町、タルソスの市民」（使二一・三九）としてパウロは誕生します。使徒言行録の歴史的信憑性を大いに疑問視する学者たちも、パウロがキリキア州都タルソス出身であることに異論を示すことはほとんどありません。当時の著作家は、タルソスを哲学諸派の重要拠点と認める一方で、その退廃的な様子をも伝えています。そのような中で、「生まれて八

んだ聴衆へ訴えるにふさわしい表現といえるでしょう。パウロ一家は、このあとユダヤ地方へ移り、パウロはファリサイ派教育を本格的に受け始めたようです。

2 ファリサイ派教師パウロの啓示体験

パウロは自らを「律法に関してはファリサイ派の一員」（フィリ三・五）と紹介しています。ステファノの石打ちを支持したのが「青年」期、すなわち二〇代であったとすれば（使七・五八）、一〇代にてエルサレムでファリサイ派教育を受け、その後、都の会堂（キリキア州出身のユダヤ人会堂？［使六・九］）でファリサイ派教師として律法厳守を唱道していたのでしょうか。祭司への律法規定をユダヤ人一般へ適用しようとするファリサイ派の一員にとって、木にかけられ神に呪われたイエスに救いを見出す集団は、まさに「ユダヤ人をつまずかせるもの」（一コリ一・二三、ガラ三・一三）であり、律法への熱心という動機づけによる迫害の対象となったことでしょう（フィリ三・六、ガラ一・一三）。この熱心はやがて教会宣教の原動力となるのですが、パウロはこの一大転機をその啓示体験によって説明しています（ガラ一・一五―一六、一コリ一五・八。使九章を参照）。その激変性に注目して「回心／改宗」と位置づけられがちな体験は、じつは他宗教への鞍替えではなく、ユダヤ教内のセクト発生的メシア共同体への所属変更なのです。パウロのユダヤ教という文脈を強調するならば、「召命」という表現も可能でしょう。

3 新たなパウロ理解へ

パウロをユダヤ教の文脈内で捉える作業は、「新たな理解」と呼ばれます。どこが「新たな」のかと訝しがる方もいることでしょう。しかし、どうでしょう。たとえば、伝統的にイエスの教えが「律法の再解釈」と捉えられることはあっても、パウロの教えは「律法批判」であって、ユダヤ教の再解釈ではないと思われがちです。そこで、新たなパウロ理解のために以下の問題提起をしておきましょう。①律法とは何でしょう、②パウロは律法の何を問題視するのでしょう、③ガラテヤ書とローマ書にはそれぞれどのような執筆状況があったのでしょう。最後に、新たなパウロ理解へ関心を抱かれる方に、以下の良書を推薦して筆をおくことにします。

E・P・サンダース著、土岐健治、太田修司訳『パウロ』教文館、二〇〇二年。

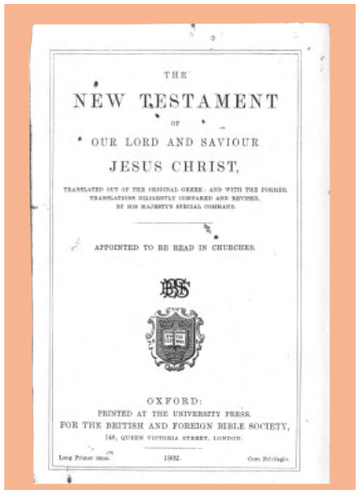
芥川龍之介の聖書

世を去るまで枕頭にあった

鈴木範久（すずき のりひさ）立教大学名誉教授

芥川とキリスト教

聖路加国際病院の一角に、芥川龍之介の生誕の地であることを示す記念碑が建てられている。芥川は一八九二（明治二五）年、その地で牛乳業耕牧舎を営んでいた新原敏三・フクの長男として生まれた。芥川は、生まれてすぐに、赤ん坊が丈夫に育つための風習にしたがい、近くの教会の前に捨てられた。もちろん儀式であるから、直ちに拾われた。周りは外国人の居留地であったため、教会はいくつかあった。もしかすると聖公会の聖三一教会かもしれない。そうなると、妙な関係にせよ、芥川とキリスト教との最初の出会いになる。



芥川が用いた聖書“The New Testament”（オックスフォード版）日本近代文学館　所蔵

一九一〇（明治四三）年、芥川は第一高等学校に入学する。校長はキリスト者の新渡戸稲造であり、当時の一高には宗教的雰囲気が色濃く漂っていた。同期入学者の中に矢内原忠雄、三谷隆信、倉田百三らがいる。同じく同期の井川（恒藤）恭から芥川は一冊の英文新約聖書を贈られた。一九〇二年刊行のオックスフォード版のThe New Testamentであり、表紙の裏に「一高在学中 井川君より贈らる」と記されている。井川は、ドイツ人宣教師の経営する学生寮にいたようである。

その後、作家になってからの芥川は、キリシタンを題材とした作品を少なからず発表する。これらの中には殉教談や聖人伝によったものもあるが、日本人のキリスト教受容の面の上での鋭い文明批評がみられる。しかし、しだいに芥川の関心はキリストに注がれていく。

聖書販売人室賀文武

芥川と聖書との関係を語るとき欠かせない人物に室賀文武がいる。芥川の父が営んでいた耕牧舎で働いていて、幼児の芥川をかわいがった。芥川より二十三歳年長であるから、親子ほどの年の違いがあった。芥川の一高時代に二人は再会。しばらくして室賀が自選句集『春城句集』に序文を寄せた。

行商生活をへて米国聖書協会に雇われていた室賀は、内村鑑三の聖書研究会にも出席していた。室賀の回想によると、室賀は内村の著書を芥川のところへ持っていくようになった。ある日、内村の『感想十年』を読んだ芥川は、もっと早く内村について学ぶべきであったと残念がった。一九二六年に聖書も贈ると、さっそく「山上の垂訓」のところを読んでいる。聖書協会の一室に住んでいた室賀を、芥川をたびたび訪問している。そのことは、作品の「歯車」でうかがわれる。芥川は室賀を敬愛していた。

©日本近代文学館

遺された聖書

芥川自身が用い、今日まで遺されている聖書は二冊あり、いずれも日本近代文学館に所蔵されている。ほかにもあったに違いないが、それらは不明である。その一冊が、前述した英文の新約聖書である。四福音書を中心に、かなり多くの部分に朱線が引かれている。若いころ読んだのみならず、晩年に至るまで親しんだことは、たとえば最後の作品「西方の人」において、固有名詞を日本語訳聖書とくらべると、「モーセ」は「モーゼ」、「バプテスマ」は「バプテズマ」など表記が英語的になっていることからわかる。

芥川が用いた聖書
『旧新約聖書』（明治元訳）
日本近代文学館　所蔵

日本語訳聖書は、世を去ったとき枕元に置かれていた『旧新約聖書』（米国聖書会社、「大正三年一月八日刊、大正五年四月二〇〇〇※」明治元訳）である。「西方の人」執筆のため前日まで用いていた聖書とされている。これにも、マタイ伝を中心として十数箇所に及ぶ朱線をみることができる。

これを「西方の人」と比較して気づかれることが少なくないが、ここではひとつだけ指摘したい。朱線部分で示すと、次の文章である（カッコ内はマタイ伝の章節）。

イエス頓て手を伸之を執て曰けるは信仰うすき者よ何ぞ疑ふや（一四・三一）
然ど我なんぢらに告んエリヤは既に来しに人これを知ずただ意の任に彼を待へり此の如く人の子もまた彼等より苦難を受べし（一七・一二）
夫ヨハネ義道をもて来りしに爾曹これを信ぜず税吏娼妓は之を信じたり爾曹これを見てなほ悔改めず彼を信ぜざりき（二一・三二）

世におけるキリストの孤独、寂寥に芥川が強く惹かれていたような気がしてならない。

※ この日付に二〇〇〇部増刷されたという意。

エッセー 28

聖書をめぐるあれこれ

山北宣久

聖書をめぐるおもしろエピソードあれこれを私らしく引用しつつ、日ごろ感じていることを綴らしていただこう。

＊岩波書店の登録商標となっているミレーの「種まく人」。主イエスの語られた譬え話（マタイ一三章等）を基としているが、風を利して種を播く図である。風は霊。聖霊の風が吹いてこそ、み言葉の伝播はなしうる。祈りつつ、また祈られつつ種を播きつづけたい。祈りを経ない御言葉の種は根づかないから。

＊もう一つはビクターのトレードマーク。ニッパーと名前までついた犬が古い蓄音機に耳を傾けている図に「His Master's Voice」との言葉が添えられている。雑音の多い中で、主人の声を一心不乱に傾聴する愛の関係をこそ保持したいものだ（岩波、ビクター両社から宣伝料はもらっていない。念のため）。

＊世界旅客航空法なるものがある。国際線の飛行機に搭載すべき緊急用品が定められている。天幕、櫂、ふいご、フカよけ、日光反射鏡、海水着、釣道具、着色剤、海水脱塩器、呼笛、救急薬品一式、食料、ドロップ、ビタミン剤など三二種類七七点にものぼる。これらが二十五人乗りのライフ・ラフト（ゴム製救命イカダ）に納められ、DC8機には六個、ジャンボ機には十六個が積まれているというのだ。沿岸から七百二十キロ以上の洋上を飛ぶ場合、義務づけられているこれらの搭載品リストの中に「聖書」が入っている。これは何を意味するのだろう。それは、不時着した時に不安に襲われた人々が、聖書を手にして落ち着きを取り戻し、慰めと平安のうちに救いの時を待てるようにとの配慮のためと思われる。いざという時に聖書を手にして救われることは大したことだ。しかし、「もうダメだ」という有事の時に読むだけでなく、無事な時にも開くのが聖書であろう。エッ？　有事の時にも、無事の折にも聖書なんか開かない？　ウーン。

＊一九六九年、アメリカはアポロ一一号による月面着陸を成功させた。その際、国旗とともに聖書を月に置いてきた。昔は、月にウサギがいる――なんて幼心に夢を描いていたが、爾来、月を仰ぐたびに「あそこに聖書が置いてあるのかぁー」と思うようになった。最近知ったが、フランスでは、月に住むのは「欲深な男」であるそうな。神の罰によって月に飛ばされたというこの男の罪は、十戒の第四戒を無視したこと。つまり、「安息日を守らずに働き続けた」からとのこと。ともかく、聖書が月に！　いささかの感慨を催すのであるが、月に聖書を届かせうるすばらしい叡智を持ちながらも、戦争一つ止めさせることのできないこの地上においてこそ聖書は読むものなのだということを思わせられる。容易ならぬ地上・地球上の現実の只中でこそ聖書を開いていく意味を、改めて月を見上げながら想う。

＊状況がひどくなる時、切羽詰った現状にさしかかると、アメリカでは三つのBに分かれるという。

①Bank　金だ、金！　もう、愛だ情けだと精神論を言っていられない。地獄の沙汰も金次第、と言って銀行にかけ込む。

②Bottle　酒だ、酒！　飲んでウサ晴らしするしかない、と言って、ボトルキープしてある馴染みの店に飛び込む。

③Bible　永い間読んでいなかった聖書に立ち帰り、原点に今一度立とうと言って教会に転がり込む。

この三つめのBたるバイブルへの復帰があるところがアメリカらしさ、日本とのらくさ（落差）ということか。何しろドル紙幣にIn God We Trustと印刷してあるお国柄だから。

＊ある牧師が新しい任地で、いわゆるお見合い説教をした。背が低かったから、講壇用聖書を踏み台代わりにして。礼拝後の役員会では大ブーイング。聖書を踏み台にするなんてとんでもない。牧師不適格！　という声が圧倒的となった。その時、最長老がおもむろにこう述べた。「いえいえ、そうではありませぬ。あの牧師は全身を聖書の上に置き、み言葉に立脚して説教なされた。昨今、片足だけ聖書に置いた説教、時には聖書に全く身をのせていない話をする人が多い中、見事な説教でした」。みんな、「そういえば、そうでしたな」と合槌を打ち、その説教者を牧師として招聘したそうな。もちろん、踏み台も新調した上で。聖書に立脚し、全身をみ言葉に置いた説教をなすべく促されることしきり。

山北宣久（やまきた　のぶひさ）
日本基督教団聖ヶ丘教会牧師
日本基督教団総会議長

ジッパーつきDUO

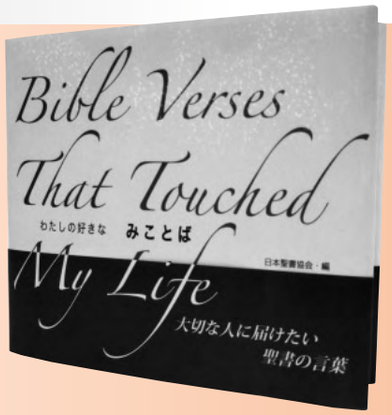
聖書 新共同訳
NI45Z-DUO
黒×グレー
定価 4,935円（税込）

聖書 新共同訳 旧約聖書続編つき
NI45DCZ-DUO
茶×薄茶
定価5,460円（税込）

2005年11月に新刊頒布された「DUOシリーズ」にジッパーつきが新たに加わりました。シックなグレーとブラック（聖書　新共同訳）、落ち着いた2色のブラウン（聖書　新共同訳　旧約聖書続編つき）で、肌触りもよく、デザイン性の高い仕上がりになっています。ジッパーを開けると、そのまま聖書がお読みいただけます。持ち運びにも便利です。

わたしの好きな みことば

2007年8月に新刊頒布された『わたしの好きなみことば』は好評のうちに初版品切れとなりましたが、このたびプレゼントに最適なホワイトカバーを加えて、重版が完成いたしました。受洗記念やお誕生日、結婚式など、幅広く用いていただけます。ご注文の際には、『わたしの好きなみことば』のホワイトカバーとご指定ください。



わたしの好きなみことば
NI653P
定価2,520円（税込）

教会の幅広いご協力を求めて

昨年12月7日に、日本聖書協会理事・評議員の改選が行われました。
今回は、新たなメンバーとして理事になられた1名の方と、
評議員になられた5名の方々をご紹介いたします。

新理事
関　光雄
せき　みつお

1960年生まれ
東京都在住
カトリック東京教区司祭
東京教区事務局次長

新評議員
深谷松男
ふかや　まつお

1933年生まれ
宮城県在住
宮城学院学院長
キリスト教学校教育同盟理事
東京神学大学理事

新評議員
久世　了
くぜ　さとる

1935年生まれ
栃木県在住
明治学院学院長
キリスト教学校教育同盟理事長

新評議員
徳弘浩隆
とくひろ　ひろたか

1961年生まれ
神奈川県在住
日本福音ルーテル教会
総会書記・事務局長

任期：2008年1月～2009年12月

日本聖書協会は、新たな時代を迎えてさまざまな課題を前にしており、多くの皆さまのご協力を必要としております。今後も、理事・評議員、そして事務局一丸となって働きを進めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

新評議員
下瀬隆司
しもせ　たかし

1945年生まれ
千葉県在住
日本ホーリネス教団
教職責任役員・牧師

新評議員
トマス・ヘースティングス

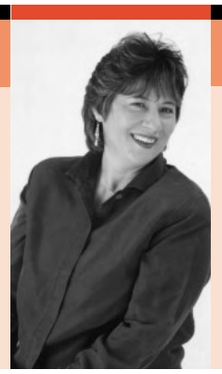
1953年生まれ
東京都在住
東京神学大学教授
宣教師

聖書と音楽の集い 滋賀

■ 日時：
2008年3月1日（土）
午後1時半～3時半（開場1時）

■ 会場：
近江兄弟社学園ヴォーリズ平和礼拝堂

■ 出演：
上原令子 氏 （シンガーソングライター）



聖書と音楽の集い 群馬

■ 日時：
2008年3月29日（土）
午後1時半～3時半（開場1時）

■ 会場：
日本キリスト教団　高崎教会

■ 出演：
上原令子 氏 （シンガーソングライター）

みんなの聖書 絵本シリーズ

『聖書 新共同訳』準拠

巻末解説ページ

聖書の世界、ちょっとくわしく

聖書にあまりなじみのない方にも、少しずつ聖書の世界に親しんでいただけるように、ていねいでやさしい解説ページを巻末につけました。時代や文化的背景がわかる解説や、各巻の内容からはなれた聖書のちょっとした知識も紹介していきますので、巻が進むごとに新しい発見があるかもしれません。

「読み聞かせ」をする中で、お子さんと交わす会話の話題に。小学校高学年のお子さんが読んで理解できるものを目指していますので、教会学校などでの子ども同士の交流にも役立てると思います。（翻訳部）

『聖書 新共同訳』掲載ページ

絵本の場面と聖書のことば

初めての聖書から本物にふれさせたい。本文では旧約聖書・新約聖書それぞれの物語を子どもたちにわかりやすいように、やさしい言葉で文章にしました。さらに絵本聖書の各場面に対応した『聖書 新共同訳』の箇所を参照できるページを巻末につけました。「読み聞かせ」ながら、大人も一緒に聖書の世界を楽しんでいただけます。

●1年目配本予定（2008年4月～2009年3月）

太字は旧約、細字は新約です。

4月 **せかいのはじまり**
5月 少年イエスと洗礼者ヨハネ
6月 **アブラハムものがたり**――やくそくを信じて――
7月 カナのけっこんしき――お母さんのしんぱい――
8月 **サムソンの秘密**――力もちなのはなぜ――
9月 よきサマリア人――しんせつなきらわれもの――
10月 **ギデオンのつのぶえ**
11月 マルタとマリア
12月 星にみちびかれて――クリスマス（1）
1月 **ダビデとゴリアト**
2月 **ダニエルのなぞとき**
3月 十字架の道

定価（各巻）：1,000円（税込）
天地250mm×左右210mm、上製本
オールカラー30ページ（解説4ページ含む）

音筆対応

「音筆（おんぴつ）」にも対応

「音筆」で絵本にタッチするだけで、そのページの朗読をクリアな音声で聴くことができます。まだ文字を読むことのできないお子さまが、ひとりでも絵本聖書を楽しめます。4月、絵本シリーズ発売開始と同時に、初年度12巻分の音声データを内蔵した音筆も発売予定です。2年目以降はデータを差し替えることでご利用いただけます。

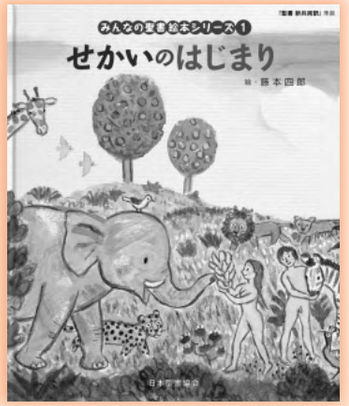
朗読：久米小百合
（教会音楽家・日本聖書協会親善大使）
予価：15,750円（税込）
音筆についての情報は日本聖書協会のホームページをご覧ください。

日本聖書協会　http://www.bible.or.jp

「読み聞かせ」で楽しむ絵本シリーズがいよいよ発売開始!!

みんなの聖書 毎月発売 絵本シリーズ 2008年4月～2011年3月 〔全36巻〕 読み聞かせにお薦めします

2008年4月より、毎月1冊、3年間にわたって、全36冊の絵本聖書が発行されます。旧約聖書・新約聖書それぞれを日本人クリスチャン画家（旧約：藤本四郎氏、新約：杉田幸子氏）が描くオリジナルの絵本聖書です。子どもから大人まで楽しめる内容を少しご紹介しましょう。



「せかいのはじまり」より©藤本四郎

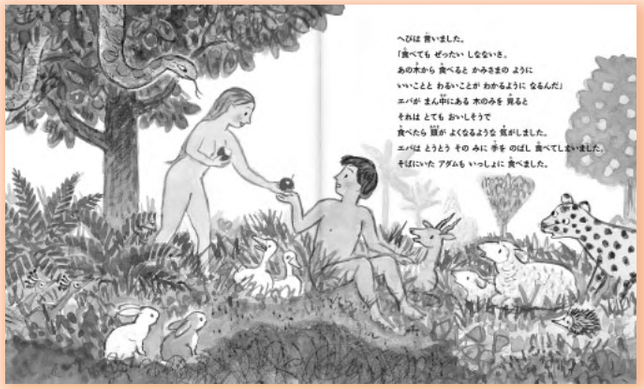
旧約聖書・絵本シリーズを描く

藤本四郎　日本児童出版美術家連盟会員。アニメーションの美術・演出にたずさわった後、フリーのイラストレーターに。絵本画家、風景画家として活躍。NHK文化センター水彩画講師。絵本・さし絵作品、小学校教科書のさし絵など作品多数。

心あたたまる絵本に―― 藤本四郎

「旧約絵本聖書の絵を」と日本聖書協会からお話を受けて私は、“心あたたまる絵本”にしたいと思いました。

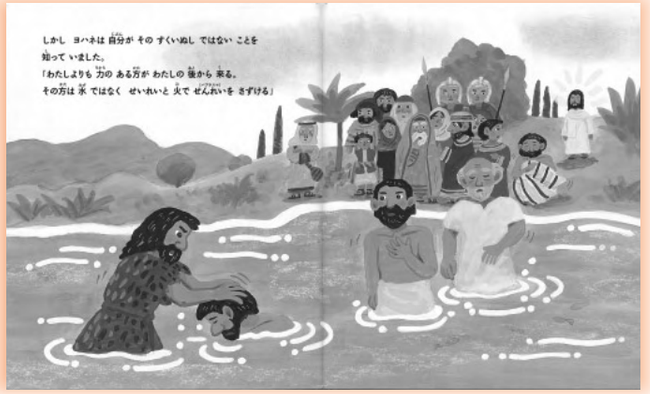
第一巻『せかいのはじまり』では動物たちが出てきます。子どもたちは動物が好き。アダムとエバが楽園を追放される時、森の木陰から動物たちが心配そうにじっと見送る絵にしました。地球温暖化の今こそ、人間が神さまと自然から見つめられていると思います。新旧約絵本を通じて、広く聖書が一般家庭に浸透することを願っています。



筆を持つ手を強めてください―― 杉田幸子

新約聖書は、イエス様のお働きを生き生きと記しています。しかし、絵本にするとなると、当時の生活の様子、服装、食物、風景を形と色に表現しなければなりません。ある程度は調べますが、この表現でいいのだろうかと悩み、もっとたくさんの資料がほしいなと思います。

そして、「神さま、必要なイメージをお与えください。私の筆を持つ手を強めてください」と祈りつつ、一枚一枚心を込めて描くようにしています。



「少年イエスと洗礼者ヨハネ」より©杉田幸子

新約聖書・絵本シリーズを描く

杉田幸子　日本児童出版美術家連盟会員、童画芸術協会委員、子どもと大人のための絵画教室『アトリエ銀穂』主宰。子どもや自然をテーマに描き、各地で個展を開催。絵本、小中学校教科書の表紙・さし絵など作品多数。

手話訳聖書の一日も早い完成のために

支援パートナーとなってお支えください！

共に手話訳聖書の完成を目指しましょう！

生まれて初めに覚え、日常使う言語を「母語」と言いますが、日本で生まれ育ちながらいまだに母語の聖書を持たない方々がおられるのをご存じでしょうか？ 生まれつき耳の聞こえない方、あるいは幼児期に聴力を失った方の多くは「手話」を母語にされています。日本語は「聞く」という経験のないまま学習して覚える第二言語なのです。手話を母語とされている方々には「手話の聖書」が必要です。手話訳聖書が一日も早く完成するように、パートナーとなってお祈りとご支援をいただきますようにお願い申し上げます。

☆ 1口10,000円の年会費で完成まで製作をお支えいただきます。

旧・新約全巻の手話訳は15年にもわたる大事業です。完成のためには継続的な支援が欠かせません。ご一緒に完成を目指しましょう！

☆ パートナー様には手話訳聖書をお届けいたします。

お申し込み時には既刊の手話訳聖書全12巻をプレゼント。そして、今後新しい手話訳聖書DVD発刊のたびに、2枚を無料でお届けいたします。どうぞ手話研究に、手話の集会にご活用くださり、ご意見をお聞かせください。

手話訳DVD

手話訳ビデオ

現在までに発刊された『手話訳聖書』
すでに10書12巻が完成し、頒布されています。

- 創世記1～15章
- 創世記16～22章
- 創世記23～28章
- 創世記29～35章
- ヨナ書、ルツ記
- マルコによる福音書
- 使徒言行録　1～14章
- 使徒言行録　15～28章
- ガラテヤの信徒への手紙
- フィリピの信徒への手紙
- テサロニケの信徒への手紙　一・二
- ヤコブの手紙

JAPAN BIBLE SOCIETY
財団法人 日本聖書協会 募金部
〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1
TEL 03-3567-1980

パートナーへのお申込、ご献金、お問い合せは募金部が承ります。

郵便振替　00160-2-18410
銀行振込　三井住友銀行 京橋支店（普）6552744
口座名：（財）日本聖書協会

ホームページからお申し込みいただけます。
ホームページアドレス　**http://www.bible.or.jp/collection/col02.html**

Sign language translation Bible

編集後記

今回は、『聖書 新共同訳』発刊二〇周年を迎え、皆様にエッセーやアンケートを通して、聖書についての思いや意見をお寄せいただきました。皆様からの声を読みながら実感したのは、私たちに与えられたみ言葉は恵みによるものですが、そのみ言葉を伝えるために、つまり一冊の聖書が世に出るために、多くの方が、お祈りやご献金など、さまざまなかたちで支えてくださっているということです。一人一人の神様への思いなくしては今の『聖書 新共同訳』はありえないということを、感謝して共に受け止める良い機会となりました。

日本では、モノが満ちあふれ、選択の自由もあり、さまざまなモノや状況、また聖書も当たり前のように受け取ることができます。一方、世界に目を向けると、一冊の聖書も、紙やペンさえも所持しえないところがまだ数多くあります。インターネットが当然の国があり、他方では、電気がまだ普通に通らないところもあります。日本聖書協会では、国内における聖書頒布に努めるだけではなく、聖書協会世界連盟を通して、このような国々、そして人々へ聖書をお届けしています。

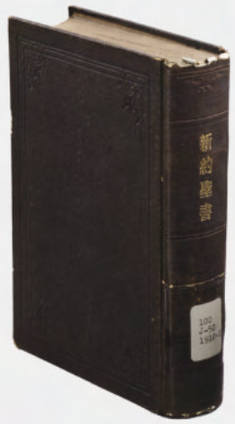
このように情報やモノばかりに埋もれてしまうと、かえって広々とした青空の下でゆっくり過ごしたくなることが誰にでもあるのではないでしょうか。今回の表紙は、青空の下に広がる札幌のポプラ並木です。時にはそのような環境に聖書を持って出かけてみるのもよいかもしれません。

ぜひ本誌をお読みになったご感想やご意見、ご要望などをお寄せください。

聖書図書館蔵書シリーズ——29

新約聖書 ラゲ訳

鹿児島公教会1910年刊
縦：16cm　横：12cm



ベルギー人エミール・ラゲはパリ外国宣教会から派遣されて1879年に来日し、九州で布教活動をした。日本語に堪能であったラゲは、カトリック教会としては初めて新約聖書を日本語に翻訳した。

ラテン語ウルガタ訳を基にギリシア語新約聖書を参照し、日本人の協力を得て完成した訳文は、優雅で格調高い。

章節のほかに、各書ごとに篇・項・款に分け、表題を付し、欄外には引照箇所、本文の意解、別訳などを示している。本文中には〔 〕の中に補語を入れて意味を明らかにし、また（ ）の中にはギリシア語にはないがラテン訳にある語を入れている。

鹿児島公教会発行であるが、東京大司教の出版認可を得、カトリック標準訳として戦後まで広く使用された。同年、ローマ字版も出版された。

写真／文 横山匡

キリスト教誕生の町 アンティオキア

エルサレムで起こった迫害のために、キリストに従った人々は各地に散らされました。当時、ローマの属州シリアの首都として栄えていたアンティオキアにも多くの人々が逃れてきました。そこにバルナバやパウロを迎え、熱い兄弟愛に結ばれた集団が生まれました。すると、周囲の異教徒たちから軽蔑の意味を込めて「キリスト者」と呼ばれるようになります（使徒一一・二六）。

このキリスト者たちは、飢饉に苦しむエルサレム母教会を援助します。さらに、異邦伝道にパウロたちを送り出すに至って、ついにユダヤ教から独立したキリスト教がここに芽生えたのです。

この町は幾度かの栄枯盛衰を経て、今はトルコの田舎の町にすぎない存在となっています。当時の繁栄を物語る貴族の館のモザイクを展示した博物館や郊外の岩山には「ペトロの洞窟教会」が見られます。また、当時のキリスト者と呼ばれた人々が住んだと思われる住宅地域を歩くと、初代教会時代の人々の暮らしぶりを想像させる雰囲気があります。狭く曲がりくねった路地には、野菜を売る屋台や、機織りの家や、共同のパン焼き場などがあり、生活共同体の姿に触れることができます。住む人の宗教も人種も異なりますが、貧しくとも愛に満ちた当時の人々の生活が偲ばれます。